

あさひ・つなぐ・レポート

【活動報告】令和8年度予算編成と

育児を経験して見えた景色



息子とこども自然公園にて

麗らかな春の光が街を包み、命の息吹を感じる季節となりました。日頃より温かなご支援とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の出産から半年が経ちました。初めての育児に日々奮闘する中、すすくと育つ我が子の寝顔や、日に日に増える表情に、親としての喜びと同時にこの小さな命が生きる未来を守る責任の重さを肌身に染みて感じております。

この3月より、ようやく朝の駅頭活動を本格的に再開することができました。「おめでとう」「頑張ってるね」と温かいお声をかけていただき、ありがとうございます。改めて地域の皆さまとの再会は、何物にも代えがたい私の原動力だと実感しています。暫くの間直接ご挨拶に伺えなかった分、また改めて皆さまお一人おひとりのもとへ足を運び、地域の生の声をお聞きしたいと決意を新たにしています。

現在、横浜市では令和8年度に向けた予算編成が大詰めを迎えています。

今年度の一般会計予算（税金をどう使うかの計画）は2兆993億円（対前年比+5.8%）、市民1人あたり予算総額は、およそ55万6892円です。これだけの大きなお金をお預かりし、皆さんの生活にどう還元していくかを考え、議論することは大変重要なことです。この議論をいかに深め、市政に訴えられるかが、議員として一番の大仕事だと思っています。

私自身、夜泣きに悩み、仕事と育児の両立に葛藤する日々があるからこそ、市民の皆さまが抱える切実な悩みや、暮らしの中のと一歩の支援の必要性が、今まで以上に鮮明に見えるようになったと感じます。一人の母親としての視点と、一人の議員として横浜市全体の視座、その両輪で、市民の皆さまの暮らしに徹底して寄り添っていきたくと思っています。

今号は主に、令和8年度予算案に対する市政トピックをまとめました。皆さまからのご意見・ご要望を政策へと繋げるべく、活動を進めてきました。ご一読いただければ幸いです。

イベント情報～希望が丘商店会「春フェス」出店します！

今年も「春フェス」が開催されます！豪華景品が当たる無料大抽選会や名物カートレース等、大人も子どもも楽しめる企画が満載です。当日、増永あやこ事務所も出店予定。商店街の活気と笑顔に触れに、ぜひお越しください。皆様のご来場、お待ちしております！

- ◆日時：2026年4月26日(日)10:00～18:30 ※雨天決行予定
- ◆場所：希望が丘商店街周辺



活動トピック①

【GREEN×EXPO 2027】何度も訪れたいくなる博覧会へ

令和8年度の予算編成に向けて、GREEN×EXPO2027について取り扱い、各パートで要望を行いました。開催までいよいよ1年。前売りチケットも販売を開始しています。是非、旭区のみなさんにも期待をいただけるよう、更に盛り上げていきたいと思っています。

1. 「誰もが参加できる」ボランティア環境の整備

ボランティア募集が始まっていますが、現在の募集案内では「誰でも参加できる」というメッセージが十分に伝わらず、年齢や障害の有無であきらめてしまう方が多いのではと指摘いたしました。現在の募集パンフレットの改善や、聴覚・視覚障害のある方が安心して楽しめる見学場所の情報発信の強化等、準備段階から当事者の皆さんと連携した環境づくりを求めました。

ボランティア募集は2026年4月30日(木)17時まで。奮って応募下さい！
URL : <https://expo2027yokohama.or.jp/sponsorship/volunteer/>



▲申し込みQRコード

2. 未来を担う子どもたちへの「体験」と「学び」

市内満4歳～18歳までの子どもたちを対象とし「招待事業」が企画されています。市立学校に通っていただければ、最大2回招待を受けることとなります。ただの見学に留まらず、地元横浜で開催される博覧会が、子どもたちの未来に繋がるような、かけがえのない学びの場となるよう要望しました。

3. 「来場者輸送」と旭区のアクセス向上

大阪・関西万博との輸送の大きな違いは、鉄道が乗り入れないことだと思います。特に旭区内は開催地であるにも関わらずシャトルバス発着駅がないため、自転車での来場環境の整備や、地域で運行されているコミュニティバス等の会場ターミナル乗り入れ検討を要望しました。また、利便性向上のため、会場南東部への入場ゲート設置も併せて提案しました。（地元のボランティアバスを乗り入れをご希望される場合は、是非ご一報ください！）

2013年慶應義塾大学総合政策学部（SFC）卒業後、リクルート住まいカンパニーに入社し注文住宅のアドバイザー・チーフとして3年間勤務。その後Teach For Japanに参画し、2016年4月より小学校の教員として3年間従事。地域を巻き込んだ教育施策にも取り組んだ。その後コンサルティング会社でコンサルタントとして大手企業を中心とした人事戦略、人材育成を務める。古川なおき衆議院議員秘書を経て、2023年4月統一地方選挙にて、横浜市旭区で13,712票を獲得し、横浜市会議員に初当選。



ますなが
増永 あやこ

横浜市旭区出身 / 横浜市会議員

【お問い合わせ】

増永あやこ希望ヶ丘事務所

T 241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

T E L : 045-744-6628 / F A X : 045-744-6638

Email : ayako.masunaga.0720@gmail.com

活動報告・最新情報はX(旧twitter) ▶
でもご確認いただけます



【支援策まとめ】物価高騰から市民の生活を守る

長らく物価高騰に対し、横浜市は、各種支援事業を順次実施していきます。

暮らし応援・生活支援 令和8年 春の緊急対策

1. すべての市民・家計への直接支援

◆市民全員（19歳以上）への5,000円分給付

電子クーポン
商品券（紙）

対象 2026年1月時点で市内に在住する19歳以上の市民

内容 1人あたり5,000円相当の電子クーポン、商品券（紙）を給付

時期 2026年4月下旬以降、順次開始予定

◆商店街プレミアム付商品券の発行

プレミアム付商品券使えます

商品券

上乗せ（プレミアム）

¥10,000分 → ¥12,000分使える！

2. 子育て世帯への重点支援

◆物価高対応子育て応援手当金

子ども1人あたり
2万円

対象 0歳から高校生年代までの子ども

支給日 2026年3月10日より順次開始

方法 原則、児童手当の受給口座へ振り込み（申請手続きは不要です）

3. 低所得世帯への対応

◆証明書発行手数料の無料化

証明書交付窓口

給付金申請に必要となる

臨時措置として無料化

¥0
手数料無料

1. すべての市民・家計への直接支援

- 市民全員（19歳以上）への5,000円分給付
 - 対象：2026年1月時点で市内に在住する19歳以上の市民
 - 内容：1人あたり5,000円相当の電子クーポンまたは商品券を給付
 - 時期：2026年4月下旬以降、順次開始予定
- 商店街プレミアム付商品券の発行
 - 市内の商店街で利用可能な、上乗せ（プレミアム）付きの電子商品券を発行し、地元での買い物を支援します。継続施策ではありますが、昨年より予算額が拡充されました。
 - 令和7年度は、鶴ヶ峰商店街協同組合、希望が丘商店会等でも実施されています。

2. 子育て世帯への重点支援

- 物価高対応子育て応援手当金
 - 対象：0歳から高校生年代までの子ども
 - 給付額：子ども1人あたり2万円
 - 支給日：2026年3月10日より順次開始
 - 方法：原則、児童手当の受給口座へ振り込み※申請不要
- 学校給食費の負担軽減
 - 食材費の高騰分を市が補填することで、保護者負担を増やさず質の高い給食を維持。実質的負担軽減を継続します。



3. 低所得世帯への対応

- 【特例】証明書発行手数料の無料化
 - 給付金申請に必要な「課税（非課税）証明書」の発行手数料を、臨時措置として無料化しています。

【報告】横浜市産後ケア事業が大きく拡充・改善されます！

これまで、多くの切実な声をいただいてきた「産後ケア事業」について、令和8年度から要望が反映され、大幅な制度改善が実現することとなりました。

1. 「使いたい時に使える」予約システムの導入

これまででは区役所での対面申請が前提であり、心身が最も辛い産後1ヶ月の時期に、新生児を連れて外出する高いハードルがありました。

▶改善点：区役所を通さず、施設へ直接予約が可能になります。申請から利用までのギャップが解消されることが期待されます。

2. 利用要件の緩和と「レスパイト（休息）」の承認

「育児不安がある場合に限定」といった従来の要件を撤廃するよう求めてきました。

▶改善点：ショートステイ（宿泊型）においては、お母さんのレスパイト（休息・リフレッシュ）目的での利用が可能になります。利用ハードルが下がり、産後うつへの抑制やお母さんの心と体のケアにも期待できます。

3. 「出産前申請」による切れ目のない支援

産後の母乳ケアの悩みや、産後うつへのリスク等は事前には予測しづらいものです。いざ必要になった時に慌てず利用できる体制を提案してきました。

▶改善点：訪問型母子ケアについて、出産前からの事前申請が可能になります。行政からの積極的な情報提供（プッシュ型通知）とあわせ、産直後から「誰でも・すぐに」助けを求められる環境が整います。

【今後の取り組み】

今回の改善に留まらず、パマトコを利用したオンラインでの迅速なアクセスを確保しつつ、必要に応じて対面でのきめ細やかな面談ができるハイブリッドな運用を働きかけてまいります。

